

健康福祉委員会資料

1 所管事務の調査（視察）

（1）消防航空隊について

平成30年11月15日

消 防 局

川崎市消防航空隊の沿革

| | | |
|-------|-----|---|
| 昭和59年 | 4月 | ヘリコプター導入に係る機種選定検討委員会を設置 |
| 昭和60年 | 6月 | 川崎式BK117型ヘリコプターを導入、「そよかぜ」と命名 |
| 昭和60年 | 7月 | 川崎市消防航空隊を設置、東京ヘリポートに基地を置く |
| 平成3年 | 4月 | 東京ヘリポート内に航空隊庁舎及び格納庫完成 |
| | 6月 | ヘリコプター問題検討委員会（2号機機種選定を含む。）を設置 |
| 平成6年 | 4月 | 川崎式BK117B-2型ヘリコプターを導入、1号機の「そよかぜ」を「そよかぜ1号」に、2号機を「そよかぜ2号」と命名し運航開始 |
| 平成8年 | 4月 | ヘリコプター・テレビ電送システムの運用開始 |
| 平成11年 | 3月 | ヘリコプター救急搬送の運用開始 |
| | 4月 | 航空隊365日全日昼間体制の開始 |
| | 10月 | 航空隊24時間体制試行運用の開始 |
| 平成13年 | 4月 | 航空隊24時間体制本格運用の開始 |
| | 5月 | 1号機更新に係る検討プロジェクトを設置 |
| 平成17年 | 3月 | 1号更新機として川崎式BK117C-2型ヘリコプターを導入、愛称「そよかぜ1号」を継承して、暫定運用開始 |
| 平成17年 | 4月 | 新そよかぜ1号機本格運用開始 旧そよかぜ1号機の登録を抹消（総飛行時間4,753時間40分無事故飛行で終了） |
| 平成24年 | 7月 | ヘリコプター更新機検討委員会を設置 |
| 平成27年 | 5月 | 旧そよかぜ2号機の登録を抹消（総飛行時間4,693時間00分無事故飛行で終了） |
| 平成27年 | 12月 | 「そよかぜ2号」の更新機としてエアバス・ヘリコプターズ社製AS365N3プラス型を導入、愛称である「そよかぜ2号」を継承し運用開始 |
| 平成29年 | 9月 | 航空隊庁舎及び格納庫を東京ヘリポート内に新築移転 |

平成30年9月末現在の飛行時間

旧そよかぜ1号・・・4,753時間40分（無事故飛行）

旧そよかぜ2号・・・4,693時間00分（無事故飛行）

そよかぜ1号・・・3,028時間15分（無事故飛行）

そよかぜ2号・・・830時間30分（無事故飛行）

航空隊発隊後

合計総飛行時間・・・13,305時間25分（無事故飛行）

平成29年中 飛行実施結果

平成29年中の航空機（ヘリコプター）運航実績は次のとおりです。

飛行件数 351件 飛行時間 503時間00分

(1) 災害出場

| 区分 | 任務 | 内 容 | 件数 | |
|----------|----|--|--------|-----|
| 災害 出場 | 火災 | 一般建物火災（情報収集・写真撮影・飛火警戒） 石油コンビナート等特別防災区域火災 その他（車両・船舶・枯草火災） | 23件 | |
| | 救急 | 救急搬送 | 0件 | |
| | 救助 | 水難救助（救助・検索・情報収集） | 22件 | |
| | 警戒 | 警戒飛行（情報収集・写真撮影） | 3件 | |
| | 応援 | 伊勢原市・厚木市等（救助活動）、福島県（林野火災） | 13件 | |
| 合計飛行時間 | | 50時間28分 | 合計飛行件数 | 61件 |

【参考】ヘリ救急運航開始（平成11年3月7日）から現在までの件数

| | |
|------|-----|
| 救急件数 | 62件 |
| 搬送件数 | 54件 |
| 搬送人員 | 49名 |

(2) 消防業務

| 区分 | 任務 | 内 容 | 件数 | |
|----------|----|---|--------|------|
| 消防 業務 | 演習 | 神奈川県国民保護共同実働訓練 東京湾消防相互応援協定に伴う合同訓練 神奈川県内各消防本部との各種合同訓練 緊急消防援助隊県内合同救助訓練 基幹的広域防災拠点ヘリコプター夜間離着陸訓練 首都直下地震防災実働訓練 他 | 30件 | |
| | 警戒 | 市街地巡視パトロール | 48件 | |
| | 調査 | 消防業務（訓練計画作成用写真撮影等）で必要な調査 | 14件 | |
| | 行事 | 各地区消防出初式 | 8件 | |
| | 訓練 | 航空救助員新規養成研修 航空救助員実務研修 各消防署が実施する消防訓練 他 | 24件 | |
| 合計飛行時間 | | 183時間05分 | 合計飛行件数 | 124件 |

(3) 航空隊業務

| 区分 | 任務 | 内 容 | 件数 |
|---------------|----------|---|------|
| 航空 隊 業務 | 操縦 訓練 | 操縦士を対象とした操縦訓練（竜ヶ崎・下総・市域） 夜間飛行訓練 当直員による飛行訓練 長距離航法訓練 | 54件 |
| | 救助 訓練 | 航空隊所属救助員を対象とした救助訓練（竜ヶ崎他） ヘリコプターテレビ伝送システム取扱い訓練 | 18件 |
| | 調査 | 市域の建物調査・臨時離着陸場の確認調査等 | 57件 |
| | 空輸 | 定期整備に伴う搬入及び領収 | 4件 |
| | 飛行 試験 | 定期整備に伴い実施される確認飛行 | 19件 |
| 合計飛行時間 | 256時間07分 | 合計飛行件数 | 152件 |

(4) 行政業務

| 区分 | 任務 | 内 容 | 件数 |
|--------|----------|--------------------------------------|-----|
| 行政 | 調査 視察 | 各部局員による市域調査飛行 区長・健康福祉委員会・消防団等視察飛行 | 14件 |
| | 撮影 | | 0件 |
| | その他 | | 0件 |
| 合計飛行時間 | 13時間20分 | 合計飛行件数 | 14件 |

川崎市消防航空隊 新庁舎のご案内



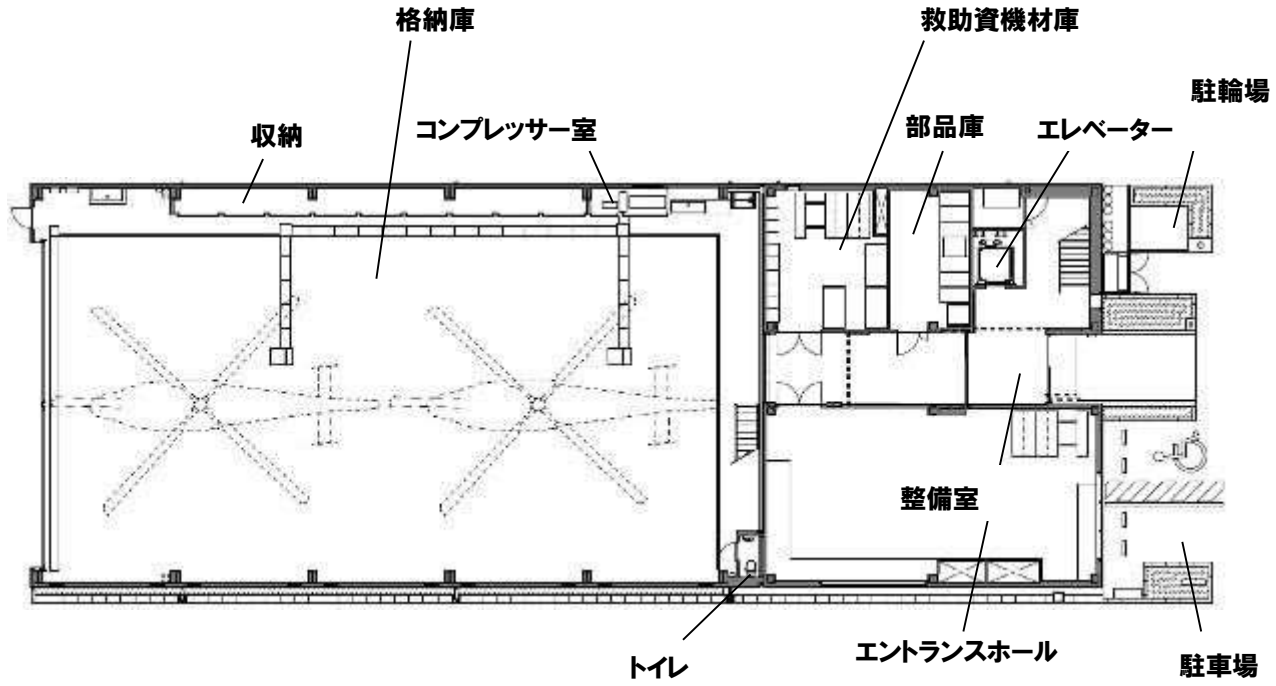
川 崎 市 消 防 局

■ 新庁舎の紹介

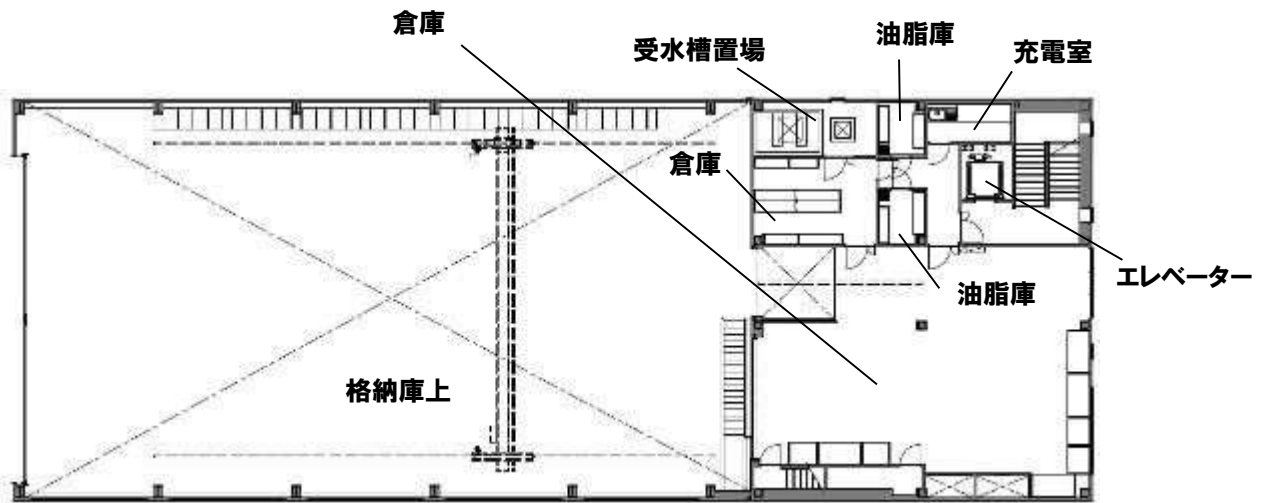
災害発生時において、本市ヘリコプターの機動力を最大限に活かし、迅速かつ効果的な消火・救助・救急活動等を行うため、ヘリコプターの活動拠点の機能強化を目的に整備した庁舎です。

| | | |
|---------|---|--|
| □ 所在地 | 東京都江東区新木場4-7-53 | |
| □ 庁舎概要 | ・敷地面積 | 899.8m ² |
| | ・建物構造 | 鉄骨造4階建 |
| | ・建築面積 | 747.83m ² |
| | ・建築延面積 | 1448.58m ² |
| | ・最高の高さ | 15.391m |
| □ 施設・設備 | 1階 | 格納庫、救助資機材庫、部品庫、整備室、コンプレッサー室、 収納、トイレ、エントランスホール、エレベーター、駐輪場、駐車場 |
| | 2階 | 油脂庫、倉庫、充電室、受水槽置場、エレベーター |
| | 3階 | 隊長室、事務室、会議室、多目的トイレ、トイレ、エレベーター |
| | 4階 | 訓練室、食堂、洗濯室、乾燥室、書庫、エレベーター 男性用(仮眠室、洗面室、脱衣室、浴室、トイレ) 女性用(仮眠室、洗面室、脱衣室、浴室、トイレ) |
| □ 機能拡充 | 仮眠室、訓練室、多目的トイレ、エレベーター、身体障害者用駐車場 女性専用スペース(仮眠室、浴室、トイレ)など | |
| □ 竣工日 | 平成29年8月25日 | |
| □ 運用開始 | 平成29年9月14日 | |

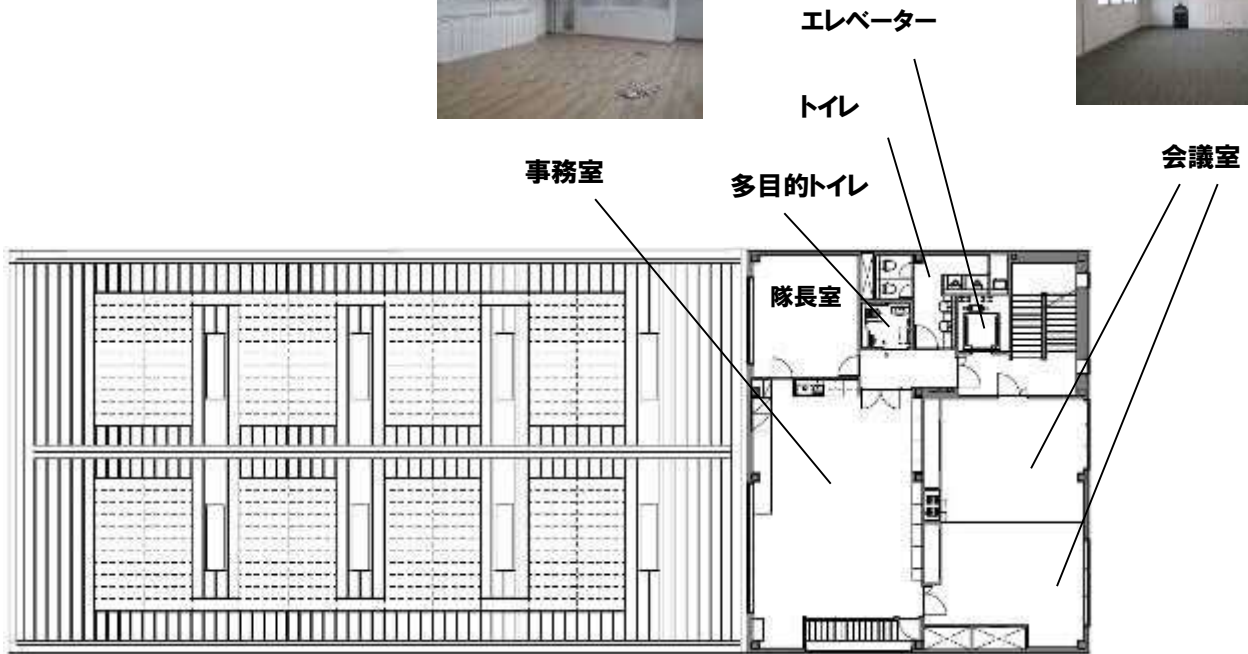
1階施設



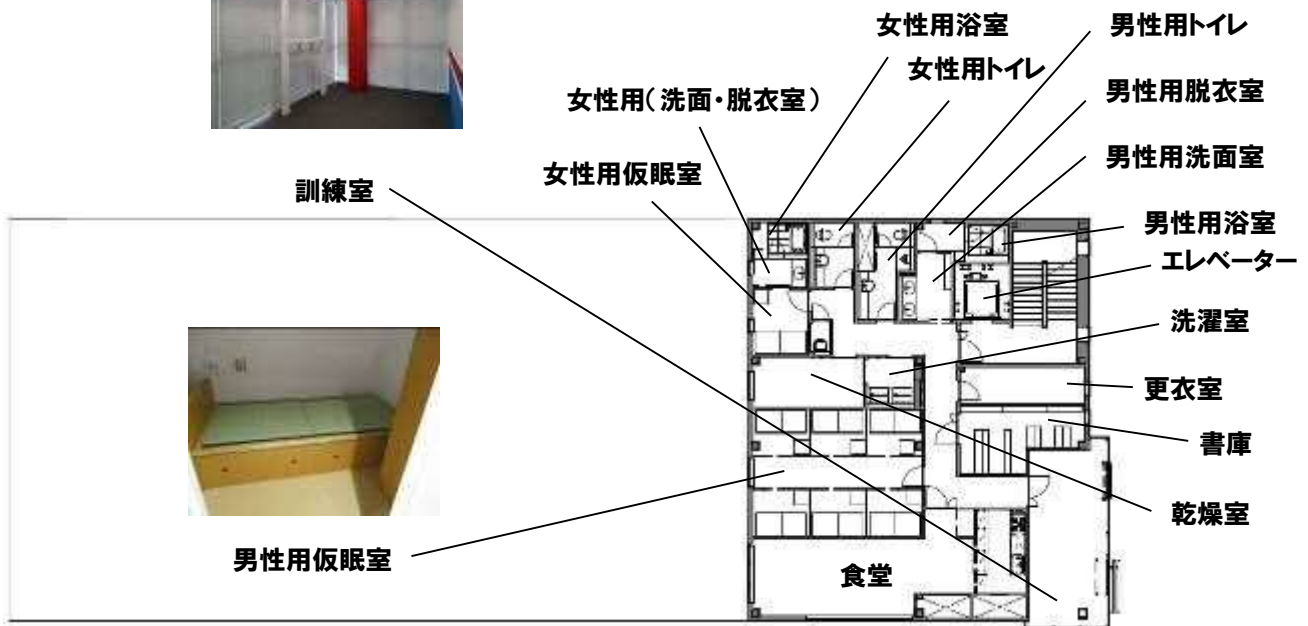
2階施設



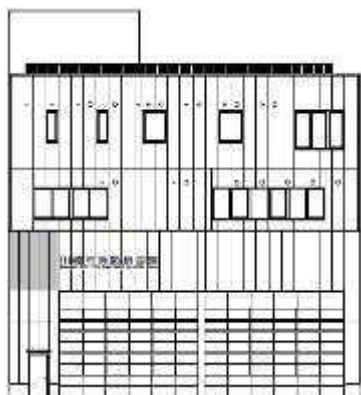
3階施設



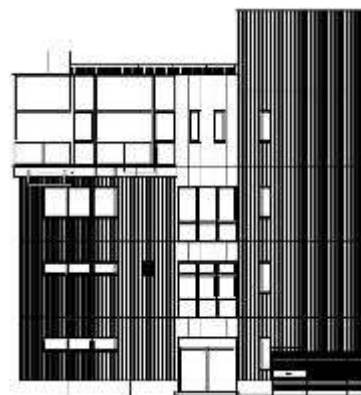
4階施設



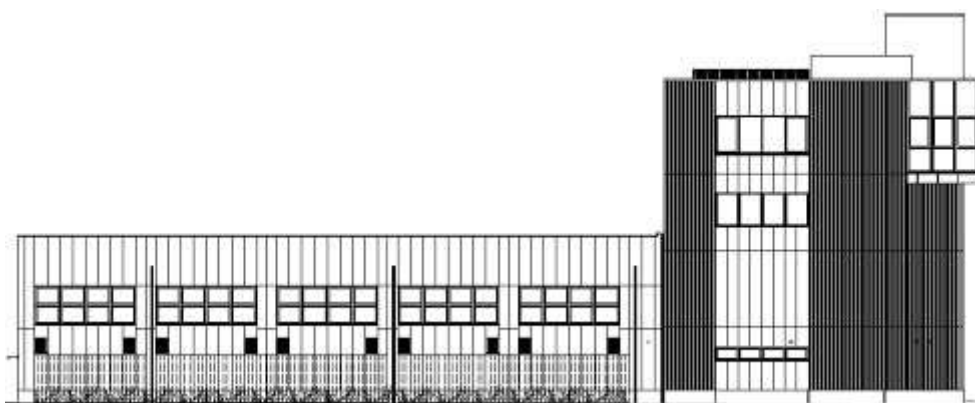
立面图



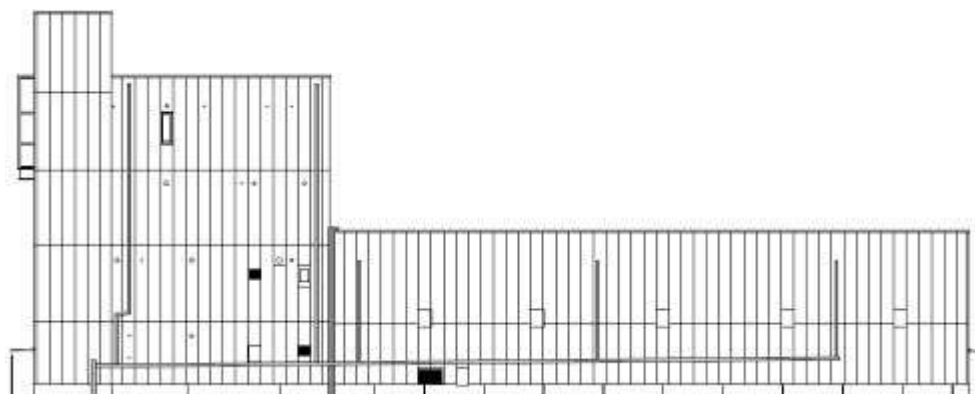
南侧立面图



北侧立面图

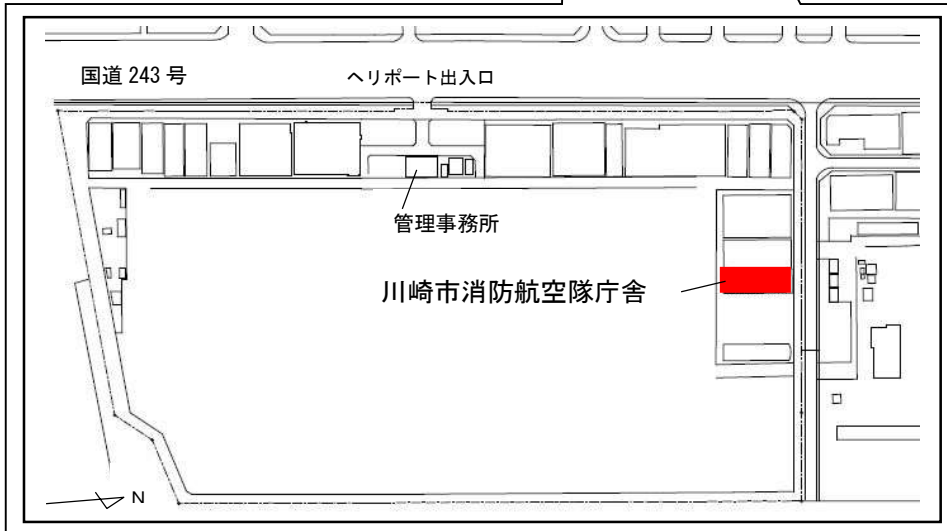
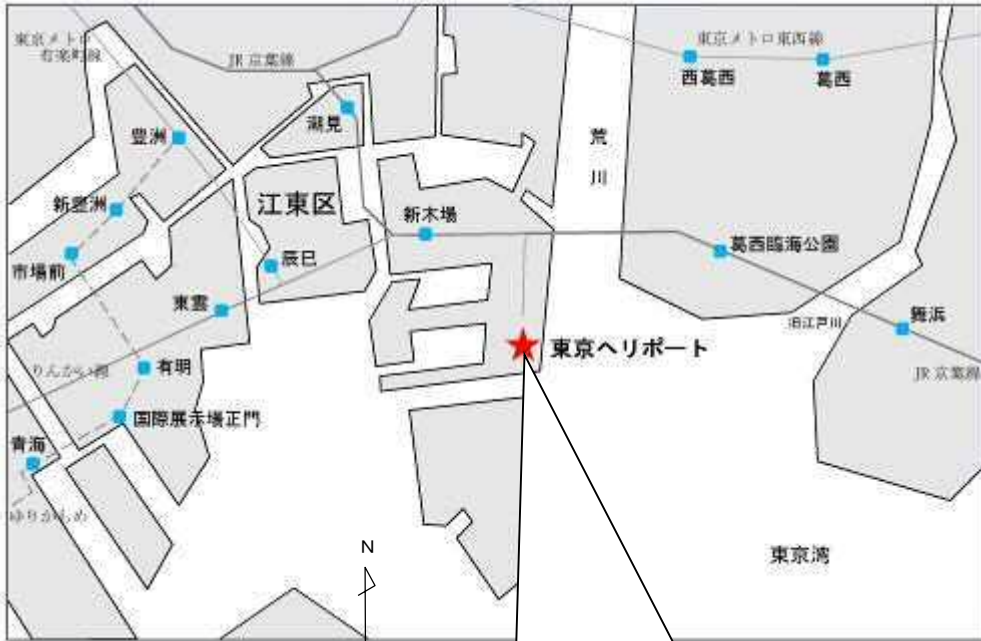


东侧立面图



西侧立面图

案内図



【アクセス】
 新木場駅（JR京葉線、東京メトロ有楽町線、りんかい線）から都営バスをご利用ください。
 「東京ヘリポート前」下車
 （新木場駅から約7分程度）
 ※ヘリポート出入口前に停留所があります

川崎市消防航空隊庁舎
 〒136-0082
 東京都江東区新木場4-7-53
 TEL 03-3522-0119
 FAX 03-3522-0159

